
「ステロイド服用患者における鍼灸関連有害事象の発生率：後方視的チャートレビュー」

に関するお知らせ

このたび、埼玉医科大学病院または本学かわごえクリニックで診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1．研究の対象となる方

2013 年 4 月 1 日～2024 年 10 月 31 日に埼玉医科大学病院東洋医学診療科を受診し、鍼治療を受けた方または 2020 年 4 月 1 日～2024 年 10 月 31 日に埼玉医科大学かわごえクリニック東洋医学はり外來で鍼治療を受けた方のうち、2.ステロイド製剤の服用もしくは静脈注射により加療された患者様を対象としています。

対象となるステロイド製剤は ヒドロコルチゾン、コルチゾン、プレドニゾロン、メチルプレドニゾロン、トリアムシノロン、デキサメタゾン、ベタメタゾンとしております。

2．研究の目的

本研究の目的はステロイド製剤を服用している患者様を対象に、鍼治療に関連した有害事象の発生率を調査することです。

3．研究期間

病院長の許可後 ～ 2026 年 3 月 31 日

4．利用または提供の開始予定日

2025 年 3 月 17 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1．試料・情報の内容

年齢、性別、既往歴、身長、体重、使用ステロイド製剤の種類、ステロイド服用期間、ステロイド投与量、使用抗生剤(抗ウイルス薬、抗菌薬)、抗凝固薬、免疫抑制剤、鍼治療期間、鍼治療

回数、治療 1 回当たりに使用した鍼の本数、他科受診歴、他科での加療内容(感染症が発生し、血液培養検査および膿瘍穿刺により感染症の起因菌が同定可能な場合は、その起因菌情報)、鍼治療後の有害事象(感染症、術後出血、皮膚障害)の発生の有無、施術者経験年数

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院東洋医学診療科において、データ管理担当の村橋昌樹が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテ情報等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

- ・埼玉医科大学病院東洋医学診療科 村橋昌樹 (研究代表者)
- ・埼玉医科大学 かわごえクリニック東洋医学鍼外来 小内愛

4. 試料・情報の管理責任者

- ・埼玉医科大学病院 病院長 篠塚望
- ・埼玉医科大学かわごえクリニック 院長 屋嘉比康治

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 東洋医学診療科 村橋 昌樹(担当者氏名)

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-2108(土日祝日を除く 8:30~17:30)

埼玉医科大学 かわごえクリニック鍼灸外来 小内 愛

住所：〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町 21-7

電話：049-238-8283(土日祝日を除く 8:30~17:00)

○研究課題名：ステロイド服用患者における鍼灸関連有害事象の発生率：後方視的チャートレビュー

○研究代表者：埼玉医科大学病院 東洋医学診療科 村橋昌樹